

世論調査報告書

平成18年度

国語に関する世論調査

[平成19年2月調査]

文化庁文化部国語課

平成 18 年度

国語に関する世論調査

平成 19 年 7 月 発行

文化庁文化部国語課

〒100-8959 東京都千代田区丸の内二丁目 5 番 1 号
〔電話（代表） 03-5253-4111〕

目 次

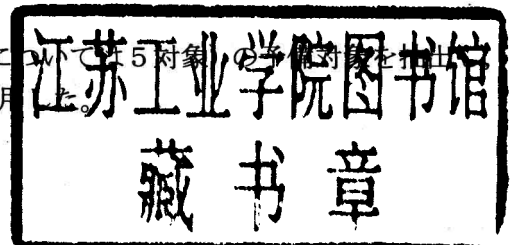
I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	
1. 言葉遣いについての関心	3
2. 言葉遣いで困っていること	8
3. 新聞を読む頻度	12
4. 雑誌を読む頻度	16
5. ウェブニュースを読む頻度	20
6. 漢字を習得する上で役に立ったこと	24
7. 漢字が書けないときの調べる手段	27
8. 常用漢字表の認知度	30
9. 常用漢字以外の漢字を使う言葉の書き表し方	35
10. 常用漢字の読み書きについての考え方	42
11. 漢字の使用頻度に関する意識	45
12. 表記の仕方（手書きの場合とパソコン・ワープロ等の場合）	59
13. ワープロ・パソコンによる文書作成	67
14. 漢字の多用傾向に対する考え	79
15. 電子メールの使用とそのための使用機器	81
16. 言葉の言い方	85
17. 慣用句等の意味	92
III 調査票	99
IV 標本抽出方法	111
V 集計表	115

調 査 の 概 要

1. 調査の目的 現代の社会状況の変化に伴う、日本人の国語意識の現状について調査し、国語施策の立案に資する。
2. 調査項目 (1) 言葉遣いについて
 (2) 常用漢字表について
 (3) 情報化時代における漢字使用について
 (4) 慣用句等の言葉遣いについて
3. 調査対象 (1) 母集団 全国 16 歳以上の男女個人
 (2) 標本数 3,000 人
 (3) 抽出方法 層化 2 段無作為抽出法
4. 調査時期 平成 19 年 2 月 14 日～3 月 11 日
5. 調査方法 調査員による面接聴取法
6. 調査実施機関 社団法人 中央調査社
7. 回収結果 (1) アタック総数 (100.0%) 3,442 (正規対象 3,000, 予備対象 442)
 (2) 有効回収数 (率) (56.4%) 1,943 (正規対象 1,707, 予備対象 236)

<予備対象の使用>

1 地点に 3 対象（東京都区部、大阪市に於いては 5 対象）の予備対象を抽出し、正規対象が不能の場合、予備対象を使用した。



〔本報告書を読む際の注意〕

1. 百分比は回答者（n）を 100%として算出し、小数点第2位を四捨五入したため百分比の合計が 100%にならない場合がある（「n」は各問いの回答者数を示す）。
2. 1回答者が二つ以上の回答をすることができる質問（調査票では「M. A.」（Multiple Answers の略）と表示）では、回答率の合計が 100%を超えることがある。
3. 〔回答票〕という表示は、回答の選択肢を列挙したリスト（回答票）を対象者に示して、その中から回答を選ばせる質問であることを示す。
4. 「付問」は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である（調査票では「SQ」（Sub-Question の略）と表示）。
5. 図表等に「—」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合である。なお、「0.0」と表示してあるのは、回答者が1人以上いるが、百分比の小数点第2位を四捨五入した結果、「0.0」となったものである。
6. 本調査で用いた都市規模区分は次のとおりである。
大 都 市（東京都区部、政令指定都市）
中 都 市（人口 10 万人以上の市）
小 都 市（人口 10 万人未満の市）
町 村
7. 本調査で用いた地域ブロック区分は次のとおりである。
北海道——北海道
東 北——青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関 東——茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北 陸——新潟県、富山県、石川県、福井県
中 部——山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近 畿——滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中 国——鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四 国——徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州——福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
8. 調査結果の誤差の計算は、2 段抽出法による標準偏差の計算式（信頼度 95%）

$$\pm 2\sqrt{2\frac{N-n}{N-1}\cdot\frac{P(1-P)}{n}}$$

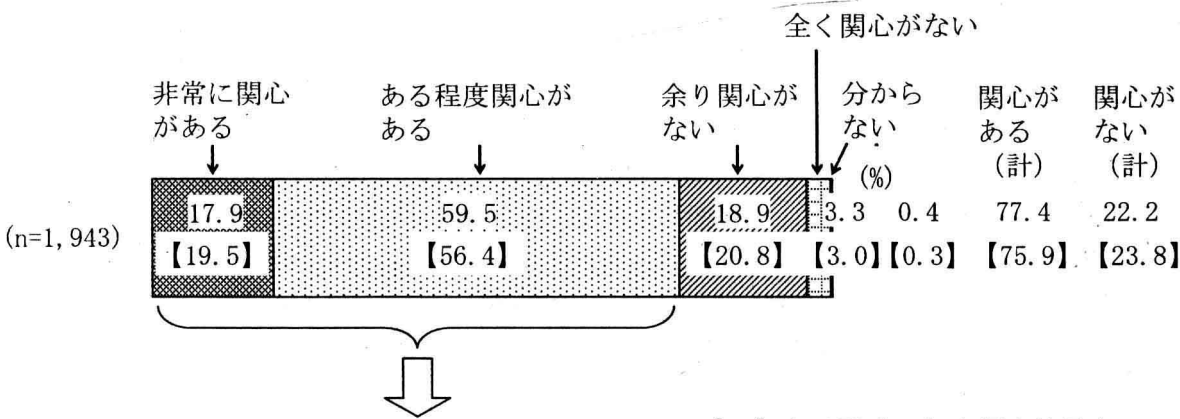
で計算できる。

上記の式について、N＝母集団数 n＝実回収数 P＝回答率 である。

なお、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ で計算できる。

1. 言葉遣いについての関心

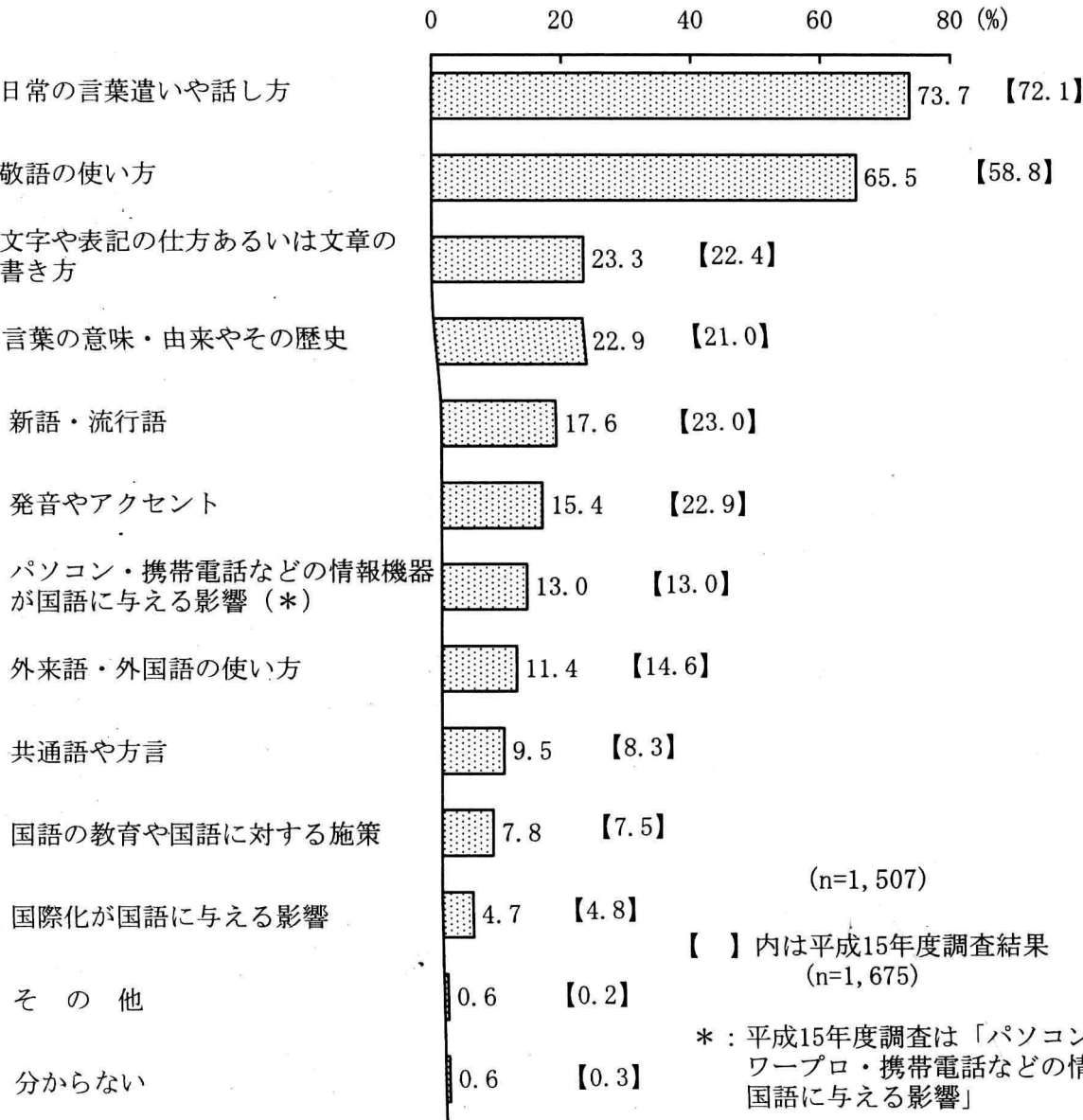
問1〔回答票〕あなたは、日常の言葉遣いや話し方、あるいは文章の書き方など、言葉や言葉の使い方について、どの程度関心がありますか。



【 】内は平成15年度調査結果(n=2,206)

(「非常に興味がある」「ある程度関心がある」と答えた人に)

付問〔回答票〕では、どのような点に関心がありますか。この中から三つまで挙げてください。



(n=1,507)

【 】内は平成15年度調査結果
(n=1,675)

*：平成15年度調査は「パソコン・ワープロ・携帯電話などの情報機器が国語に与える影響」

日常の言葉遣いや話し方、あるいは文章の書き方など、言葉や言葉の使い方について、どの程度関心があるかを尋ねた。

「非常に関心がある」が 17.9%、「ある程度関心がある」が 59.5%で、両方を合わせた「関心がある（計）」は 77.4%と 7 割台後半となっている。一方、「全く関心がない」が 3.3%、「余り関心がない」が 18.9%で、これらを合わせた「関心がない（計）」は 22.2%となっている。

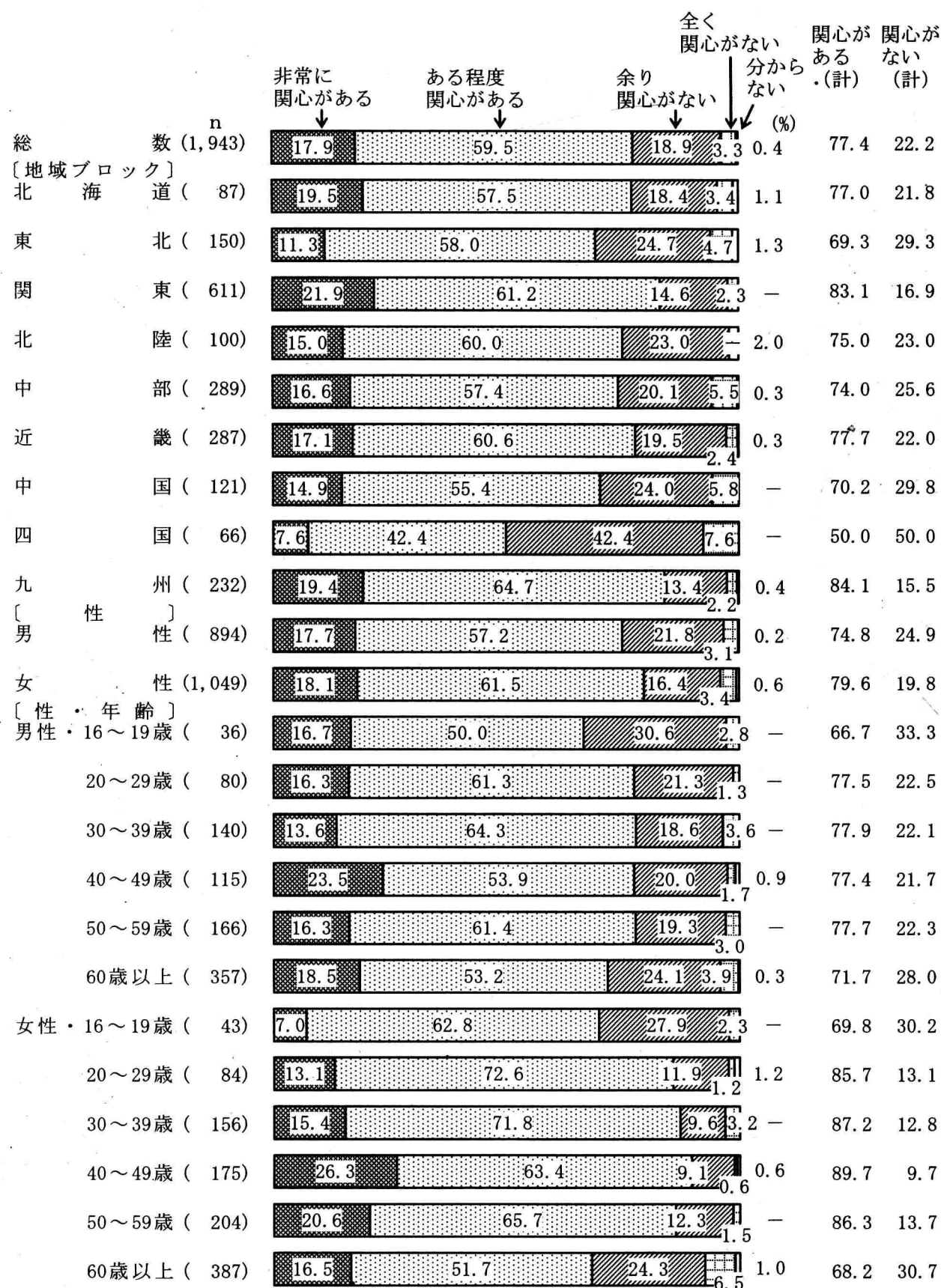
平成 15 年度調査結果と比較すると、「関心がある（計）」は 2 ポイント増、「関心がない（計）」は 2 ポイント減であるが、ほとんど変化は見られない。

地域ブロック別に見ると、「関心がある（計）」の割合は、関東（83.1%）と九州（84.1%）で 8 割台半ばと高くなっている。一方、東北（69.3%）、四国（50.0%）では、7 割以下となっている。

性別に見ると、「関心がある（計）」（男性 74.8%、女性 79.6%）は、女性の方が高い。

性・年齢別に見ると、「関心がある（計）」の割合は、女性の 30～50 代で 8 割台後半と高いが、女性の 16～19 歳と男女の 60 歳以上で 7 割前後と低くなっている。中でも女性の 60 歳以上で、6 割台後半と最も低い。また、「非常に関心がある」の割合だけを見ると、男女ともに 40 代で 2 割台と高くなっている。（図 1 参照）。

図1 言葉遣いについての関心（地域ブロック別、性別、性・年齢別）



言葉遣いについて関心がある点

言葉遣いについて「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人（全体の 77.4%）に、どのような点に関心があるかを尋ねた（選択肢の中から三つまで回答）。

「日常の言葉遣いや話し方」（73.7%）が 7 割台前半、「敬語の使い方」（65.5%）が 6 割台半ばと、突出して多く挙げられている。以下、「文字や表記の仕方あるいは文章の書き方」（23.3%）、「言葉の意味・由来やその歴史」（22.9%）、「新語・流行語」（17.6%）、「発音やアクセント」（15.4%）、「パソコン・携帯電話などの情報機器が国語に与える影響」（13.0%）、「外来語・外国語の使い方」（11.4%）、「共通語や方言」（9.5%）、「国語の教育や国語に対する施策」（7.8%）、「国際化が国語に与える影響」（4.7%）となっている。

平成 15 年度調査結果と比較すると、「日常の言葉遣いや話し方」と「敬語の使い方」の割合が突出している点が共通している。

地域ブロック別に見ると、全体での上位 2 項目はすべての地域で上位 2 位までに挙げられている。

性別に見ると、男性が高いのは、「言葉の意味・由来やその歴史」（28.0%）、「外来語・外国語の使い方」（13.5%）、「国際化が国語に与える影響」（6.4%）である。一方、女性で高いのは「日常の言葉遣いや話し方」（77.4%）、「敬語の使い方」（67.7%）となっている。

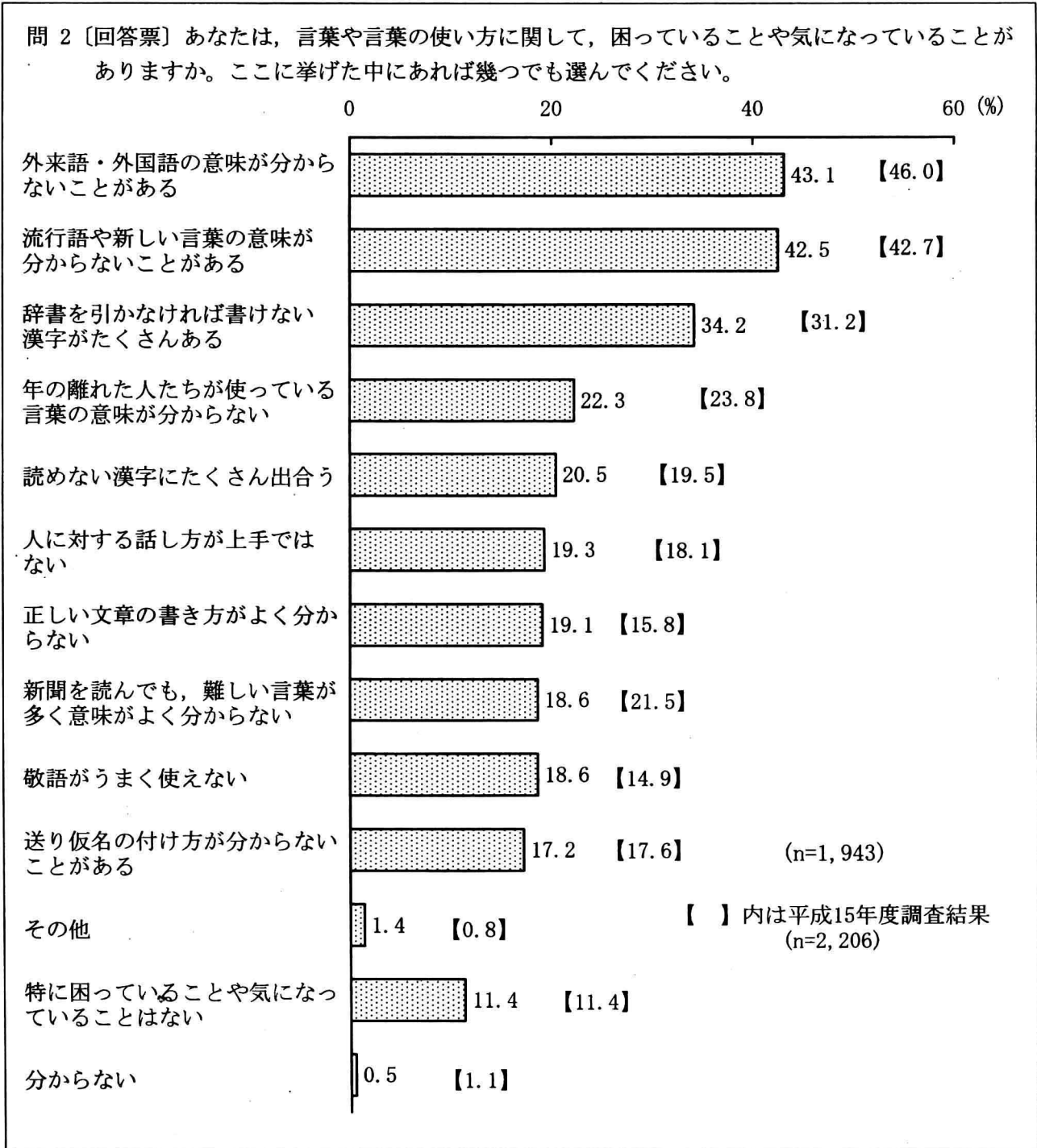
性・年齢別に見ると、「日常の言葉遣いや話し方」は、女性の 40～50 代で 8 割を超えているが、男性の 16～19 歳、20 代で 5 割台半ばとなっている。「敬語の使い方」は、男性 20 代、女性の 16～19 歳、20～40 代で 7 割を超え、高くなっているが、男性の 50 代、60 歳以上と女性の 60 歳以上で 5 割台後半と低くなっている。「言葉の意味・由来やその歴史」は、男性の 20 代、40 代、60 歳以上で 3 割前後と高くなっているが、女性の 16～19 歳、20 代～30 代、50 代で 1 割台後半と低くなっている。（表 1 参照）。

表1 言葉遣いについて関心がある点（地域ブロック別、性別、性・年齢別）

(%)

	n	日常の言葉遣い方	敬語の使い方	文字や表記のある文章の書き方	言葉の意味・由来やその歴史	新語・流行語	発音やアクセント	パソコン・携帯電話などの情報機器が国語に与える影響	外来語・外国語の使い方	共通語や方言	国語の教育や国語に対する施策	国際化が国語に与える影響	その他
総数	1,504	73.7	65.5	23.3	22.9	17.6	15.4	13.0	11.4	9.5	7.8	4.7	0.6
〔地域ブロック〕													
北海道	67	80.6	64.2	23.9	20.9	13.4	10.4	14.9	9.0	11.9	6.0	3.0	1.5
東北	104	69.2	65.4	23.1	18.3	22.1	18.3	13.5	14.4	16.3	13.5	3.8	—
関東	508	76.0	62.2	23.2	23.2	16.9	19.1	13.0	10.4	5.7	8.3	5.3	—
北陸	75	72.0	70.7	26.7	21.3	28.0	21.3	12.0	6.7	14.7	1.3	6.7	1.3
中部	214	74.8	59.8	26.6	23.8	19.6	15.9	12.1	11.7	6.5	4.2	4.7	—
近畿	223	67.7	70.0	19.7	19.3	18.8	12.6	19.7	13.0	7.2	7.6	3.6	0.9
四国	85	78.8	64.7	23.5	17.6	17.6	11.8	7.1	11.8	14.1	9.4	3.5	1.2
九州	33	78.8	66.7	18.2	27.3	6.1	21.2	6.1	6.1	6.1	21.2	3.0	—
	195	71.3	73.8	23.1	30.8	12.3	7.2	9.2	13.3	17.4	8.2	5.6	2.1
〔性別〕													
男性	669	69.2	62.8	23.0	28.0	17.2	14.6	14.6	13.5	9.4	7.9	6.4	0.7
女性	835	77.4	67.7	23.5	18.9	17.8	16.0	11.6	9.7	9.6	7.8	3.4	0.5
〔性別・年齢〕													
男性・16～19歳	24	54.2	62.5	33.3	25.0	25.0	16.7	4.2	20.8	20.8	8.3	16.7	—
20～29歳	62	56.5	75.8	24.2	33.9	14.5	9.7	19.4	11.3	9.7	1.6	8.1	—
30～39歳	109	66.1	67.0	22.0	28.4	18.3	17.4	15.6	11.0	12.8	8.3	2.8	0.9
40～49歳	89	68.5	67.4	22.5	32.6	18.0	18.0	11.2	13.5	7.9	4.5	7.9	—
50～59歳	129	75.2	56.6	31.8	22.5	16.3	14.0	14.7	13.2	8.5	12.4	3.9	—
60歳以上	256	72.3	59.4	18.0	27.7	16.8	13.7	15.2	14.5	7.8	8.2	7.4	1.6
女性・16～19歳	30	60.0	73.3	10.0	16.7	30.0	6.7	20.0	16.7	23.3	3.3	23.3	—
20～29歳	72	75.0	75.0	31.9	19.4	13.9	9.7	13.9	5.6	19.4	4.2	1.4	1.4
30～39歳	136	79.4	72.1	23.5	15.4	20.6	14.0	15.4	11.8	8.8	9.6	4.4	0.7
40～49歳	157	82.8	72.6	26.8	20.4	16.6	20.4	13.4	7.0	7.6	11.5	1.9	—
50～59歳	176	83.0	68.8	22.2	17.0	17.6	17.6	15.3	10.8	8.5	4.5	3.4	—
60歳以上	264	72.0	59.1	21.6	21.2	17.0	16.3	4.5	9.8	7.6	8.3	1.9	0.8

2. 言葉遣いで困っていること



言葉や言葉の使い方に関して、困っていることや気になっていることは何かを尋ねた（選択肢の中から幾つでも回答）。

「外来語・外国語の意味が分からないことがある」（43.1％）と「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」（42.5％）が4割強と高い。以下、「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」（34.2％）、「年の離れた人たちが使っている言葉の意味が分からない」（22.3％）、「読めない漢字にたくさん出会う」（20.5％）、「人に対する話し方が上手ではない」（19.3％）、「正しい文章の書き方がよく分からない」（19.1％）、「新聞を読んでも、難しい言葉が多く意味がよく分からない」（18.6％）、「敬語がうまく使えない」（18.6％）、「送り仮名の付け方が分からないことがある」（17.2％）となっている。

平成15年度調査結果と比較すると、全体として大きな変化は見られないが、「外来語・外国語の意味が分からないことがある」「新聞を読んでも、難しい言葉が多く意味がよく分からない」が3ポイント

減少している。一方、「敬語がうまく使えない」が4ポイント増加、「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」「正しい文章の書き方がよく分からない」が、それぞれ3ポイント増加している。また、「特に困っていることや気になっていることはない」(11.4%)は、平成15年度調査と変わらない。

地域ブロック別に見ると、全体での上位2項目は、北海道以外で、上位2位までに挙げられている。北海道では、「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」(49.4%)が1位、「外来語・外国語の意味が分からないことがある」(41.4%)が2位となっている。

性別に見ると、「新聞を読んでも、難しい言葉が多く意味がよく分からない」(男性13.8%、女性22.8%)、「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」(男性31.0%、女性37.0%)、「人に対する話し方が上手ではない」(男性16.8%、女性21.4%)、「敬語がうまく使えない」(男性16.1%、女性20.7%)、「送り仮名の付け方が分からないことがある」(男性14.9%、女性19.2%)で、女性の方が男性よりも4ポイント以上高くなっている。

性・年齢別に見ると、「外来語・外国語の意味が分からないことがある」は、男性の60歳以上で5割台半ば、女性の50代、60歳以上で約5割と高くなっている。一方、男性の20～30代で2割台後半と低い。「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」は、男性の50代、60歳以上と女性の50代で5割前後から5割台半ばと高くなっている。一方、男性の16～19歳、20代、女性の16～19歳では、1割台と低くなっている。中でも、割合が最も低いのは男性の16～19歳(13.9%)で、割合が最も高い男性の50代との差が42ポイントになっている。「正しい文章の書き方がよく分からない」は、女性の16～19歳、20代で3割を超え、高くなっている。「敬語がうまく使えない」は、男性の16～19歳、20代と女性の16～19歳、20～40代で2割台後半から4割弱と高くなっているが、男女とも60歳以上で約1割と低くなっている。

言葉遣いへの関心別に見ると、「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」の割合は、言葉遣いに「関心がある(計)」と回答した人の方が「関心がない(計)」と回答した人よりも10ポイント以上高くなっている。

新聞を読む頻度別(問3:12ページ)に見ると、「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と「外来語・外国語の意味が分からないことがある」の割合は、新聞を「読む(計)」と回答した人の方が「読まない(計)」と回答した人よりも10ポイント以上高くなっている。

雑誌を読む頻度別(問4:16ページ)に見ると、余り差は見られない。

ウェブニュースを読む頻度別(問5:20ページ)に見ると、「辞書を引かなければ書けない漢字がたくさんある」、「年の離れた人たちが使っている言葉の意味が分からない」、「読めない漢字にたくさん出合う」の割合は、ウェブニュースを「読まない(計)」と回答した人の方が「読む(計)」と回答した人よりも7～9ポイント高くなっている。

ワープロ・パソコンの使用別(問13:67ページ)に見ると、「敬語がうまく使えない」と「送り仮名の付け方が分からないことがある」の割合は、ワープロ・パソコンを「今、使っている(計)」と回答した人の方が「今、使っていない(計)」と回答した人よりも4～5ポイント高くなっている。一方、「読めない漢字にたくさん出合う」の割合は、「今、使っていない(計)」と回答した人の方が「今、使っている(計)」と回答した人よりも10ポイント高くなっている。

電子メールの使用別(問15:81ページ)に見ると、「敬語がうまく使えない」と「送り仮名の付け方が分からないことがある」の割合は、電子メールを「使っている」と回答した人の方が「使っていない」と回答した人よりも高くなっている。一方、「外来語・外国語の意味が分からないことがある」と「読めない漢字にたくさん出合う」の割合は、「使っていない」と回答した人の方が「使っている」と回答した人よりも10ポイント前後高くなっている。(表2参照)。

表2 言葉遣いで困っていること（地域ブロック別、性別、性・年齢別）

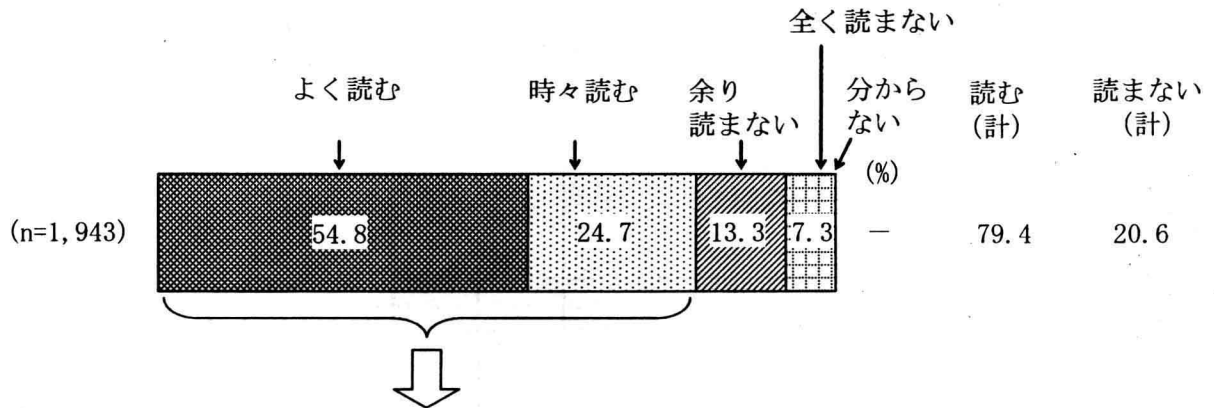
	n	外来語・ 外国語の 意味が分 からない ことであ る	流行語や 新しい言 葉の意味 が分から ないこと がある	辞書を引 かなけれ ば書けな い漢字が たくさん ある	年の離れ た人たち が使っ ている言葉 の意味が 分からな い	読めない 漢字にた くさん出 合う	人に対す る話し方 が上手で はない	正しい文 章の書き 方がよく 分からな い	新聞を読 んでも難 しい言葉 が多く意 味がよく 分らない	敬語がう まく使え ない	送り仮名 の付け方 が分から ないこと がある	(%) 特に困っ ているこ とや気に なってい ないこと はない
総数	1,943	43.1	42.5	34.2	22.3	20.5	19.3	19.1	18.6	18.6	17.2	11.4
〔地域ブロック〕												
北海道	87	41.4	35.6	49.4	11.5	26.4	17.2	14.9	19.5	20.7	21.8	9.2
東北	150	45.3	47.3	29.3	25.3	18.7	18.0	21.3	21.3	24.0	21.3	10.0
関東	611	42.1	41.2	33.6	23.7	18.3	17.5	17.2	17.5	15.4	16.5	11.5
北陸	100	50.0	52.0	47.0	27.0	26.0	16.0	25.0	21.0	17.0	18.0	7.0
中部	289	39.1	39.8	34.6	23.5	19.4	19.7	18.0	18.7	19.0	16.6	14.2
近畿	287	44.6	44.9	30.0	19.9	19.2	19.9	17.4	15.7	19.2	12.2	13.6
四国	121	37.2	37.2	32.2	20.7	23.1	28.9	26.4	23.1	24.0	19.8	7.4
九州	66	40.9	34.8	31.8	18.2	24.2	13.6	16.7	9.1	21.2	15.2	21.2
	232	48.7	46.1	34.5	22.4	23.7	22.4	22.4	22.4	18.5	20.3	8.2
〔性別〕												
男性	894	43.0	42.5	31.0	20.4	19.0	16.8	17.3	13.8	16.1	14.9	14.5
女性	1,049	43.2	42.4	37.0	24.0	21.8	21.4	20.7	22.8	20.7	19.2	8.8
〔性・年齢〕												
男性・16～19歳	36	36.1	13.9	27.8	16.7	8.3	13.9	11.1	11.1	38.9	8.3	13.9
20～29歳	80	26.3	17.5	25.0	15.0	20.0	20.0	13.8	15.0	27.5	18.8	15.0
30～39歳	140	27.9	35.7	28.6	14.3	12.9	17.9	25.7	9.3	20.0	15.0	13.6
40～49歳	115	35.7	40.0	32.2	15.7	21.7	13.9	21.7	16.5	15.7	14.8	14.8
50～59歳	166	46.4	55.4	34.3	19.9	18.7	18.1	20.5	13.9	16.3	17.5	8.4
60歳以上	357	54.1	48.5	31.7	26.1	21.6	16.2	12.6	14.6	9.8	13.4	17.6
女性・16～19歳	43	30.2	16.3	20.9	32.6	14.0	23.3	32.6	27.9	30.2	25.6	—
20～29歳	84	33.3	27.4	34.5	20.2	25.0	29.8	36.9	31.0	33.3	21.4	4.8
30～39歳	156	32.7	37.2	36.5	21.2	16.7	19.9	22.4	25.0	25.6	23.1	5.8
40～49歳	175	39.4	46.3	34.3	23.4	19.4	26.3	22.3	22.9	30.3	24.6	3.4
50～59歳	204	50.0	50.0	39.2	18.6	21.1	21.6	16.7	23.0	19.6	18.6	8.3
60歳以上	387	49.1	45.0	39.5	28.2	25.6	17.8	16.5	19.4	11.1	14.2	14.5

表2 (続き) 言葉遣いで困っていること (言葉遣いへの関心別、新聞を読む頻度別、雑誌を読む頻度別、ウェブニュースを読む頻度別、ワープロ・パソコンの使用別、電子メールの使用別)

	n	外来語・ 外国語の 意味が分 からない ことがあ る	流行語や 新しい言 葉の意味 が分から ないこと がある	辞書を引 かなけれ ば書けな い漢字が たくさん ある	年の離れ た人た ちが使っ ている言 葉の意 味が分 からない	読めない 漢字にた くさん出 合う	人に対す る話し方 が上手で はない	正しい文 章の書き 方がよく 分らない	新聞を読 んでも難 しい言葉 が多く意 味がよく 分らない	敬語がう まく使え ない	送り仮名 の付け方 が分から ないこと がある	特に困っ ているこ とや気に なってい ることは ない
総数	1,943	43.1	42.5	34.2	22.3	20.5	19.3	19.1	18.6	18.6	17.2	11.4
〔言葉遣いへの関心〕												
関心がある(計)	1,504	44.2	45.7	36.4	23.1	19.7	19.8	20.5	19.3	19.3	18.2	6.1
関心が無い(計)	431	39.4	31.8	26.7	19.7	23.4	17.4	14.6	16.2	16.2	13.9	29.7
〔新聞を読む頻度〕												
読む(計)	1,543	45.3	45.6	35.2	22.8	19.6	18.0	18.1	17.8	17.4	17.2	9.9
読まない(計)	400	34.5	30.3	30.5	20.5	24.3	24.5	23.0	21.8	23.3	17.3	17.3
〔雑誌を読む頻度〕												
読む(計)	853	41.6	41.5	34.2	21.2	18.1	18.8	18.8	17.2	20.2	18.1	9.3
読まない(計)	1,090	44.2	43.2	34.2	23.2	22.5	19.7	19.4	19.7	17.3	16.5	13.1
〔ウェブニュースを読む頻度〕												
読む(計)	623	38.8	38.5	29.5	17.0	14.3	17.7	21.0	13.6	22.0	18.3	8.2
読まない(計)	1,300	44.9	44.3	36.4	25.0	23.2	20.2	18.1	21.0	16.8	16.6	13.2
〔ワープロ・パソコンの使用〕												
今、使っている(計)	951	40.4	42.4	31.3	20.1	15.6	19.1	20.1	15.7	21.3	19.3	8.0
今、使っていない(計)	984	45.8	42.8	36.8	24.6	25.2	19.5	18.3	21.5	15.9	15.2	14.8
〔電子メールの使用〕												
使っている(計)	1,125	38.3	40.2	33.1	20.1	17.2	19.6	20.5	18.8	21.2	19.6	8.4
使っていない(計)	807	49.8	46.0	36.1	25.5	25.0	18.8	17.3	18.5	15.0	13.9	15.7

3. 新聞を読む頻度

問3〔回答票〕あなたは、ふだん新聞をどの程度読みますか。



(「よく読む」「時々読む」と答えた人に)

付問〔回答票〕あなたは、日ごろ新聞を御覧になっていて、そこで使われている漢字は、全体として、難しいと思いますか、それとも、易しいと思いますか。



新聞をどの程度読むかを尋ねた。

「よく読む」が54.8%、「時々読む」が24.7%で、両方を合わせた「読む(計)」は79.4%と約8割を占めている。一方、「全く読まない」が7.3%、「余り読まない」が13.3%で、これらを合わせた「読まない(計)」は20.6%となっている。

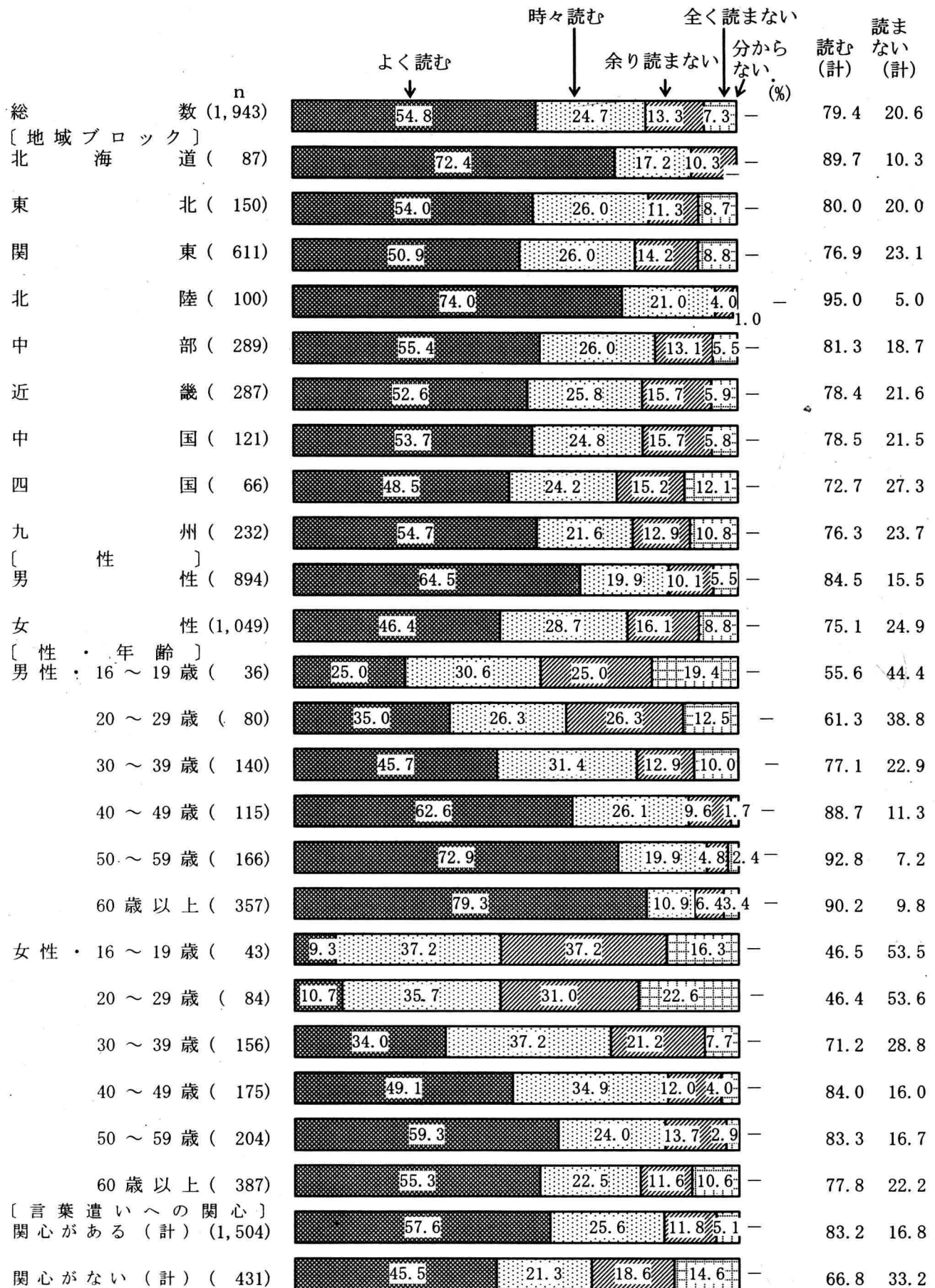
地域ブロック別に見ると、すべての地域ブロックで「読む(計)」の割合が「読まない(計)」の割合を上回っており、特に、北海道(89.7%)、北陸(95.0%)で約9割から9割台半ばと高い。また、北海道、北陸では、「よく読む」の割合が7割台前半と、ほかの地域より高くなっている。

性別に見ると、「読む(計)」の割合は、女性(75.1%)よりも男性(84.5%)で、9ポイント高くなっている。

性・年齢別に見ると、「読む(計)」の割合は、男性の40～50代、60歳以上で9割前後、女性の40～50代で8割台前半と高い。一方、男性の16～19歳で5割台半ば、女性の16～19歳、20代で4割台半ばと低い。また、「よく読む」の割合に注目すると、男性の50代、60歳以上で7割台と高くなっている。

言葉遣いへの関心別に見ると、「読む(計)」の割合は、言葉遣いに「関心がある(計)」と回答した人の方が「関心がない(計)」と回答した人よりも16ポイント高くなっている。(図2参照)。

図2 新聞を読む頻度（地域ブロック別、性別、性・年齢別、言葉遣いへの関心別）



新聞で使われている漢字は難しいと思うか

新聞をどの程度読むかについて「よく読む」「時々読む」と答えた人（全体の 79.4%）に、新聞で使われている漢字は難しいと思うかどうかを尋ねた。

「難しいと思う」が 20.5%、「特に何とも思わない」が 73.2%、「易しいと思う」が 6.1%となっている。

地域ブロック別に見ると、中国で「易しいと思う」（12.6%）が高くなっている。

性別に見ると、「難しいと思う」（男性 15.1%、女性 25.8%）は女性の方が高くなっており、「特に何とも思わない」（男性 77.0%、女性 69.7%）、「易しいと思う」（男性 7.8%、女性 4.4%）は男性の方が高くなっている。

性・年齢別に見ると、「難しいと思う」は女性の 20 代で約 3 割と最も高い。一方、男性の 20 代で 1 割を切り、16～19 歳では選択した人がいなかった。「易しいと思う」は男性の年齢の低い層で高くなっており、16～19 歳では 2 割と最も高い。（図 3 参照）。